



シャルレは
ピンクリボン運動を
応援しています。

9月～11月はシャルレピンクリボン強化月間です



シャルレミライ ブラジャー (FA281)

【対象期間】9月1日～11月30日

シャルレミライ ブラジャー

売り上げの一部を、
公益財団法人 日本対がん協会
乳がんをなくす「ほほえみ基金」に
寄付いたします。

「伝えよう。大切な人の笑顔のために。」ピンクリボン運動

シャルレは、
女性一人ひとりの変化に寄り添い、
生活の質を向上させるからこそ…

商品を通じて美意識を高めるだけでなく、
ピンクリボン運動を通じて、健康に関する意識も高め、
行動につなげていただければ幸いです。

シャルレはこれからも
女性の皆さまの
乳がんへの関心を高め、
検診の大切さを
お伝えします。

人から人へと“思い”を伝える 私たちシャルレ

シャルレはこれまで、下着や化粧品、健康食品
などの販売を通して、人から人へとつながる
コミュニティを築いてきました。このコミュニ
ティを、私たちは「乳がんから女性を守る力」
にしたいと願っています。



お客さま世代は 乳がんリスクが高まる世代

シャルレに関わってくださるお客さまの多くが、
乳がん発症率の高い世代でもあることから、乳がん
への意識を高め、早期発見・適切な治療により、
乳がんを悲しむ女性を1人でも減らすために、今まで
以上に活動を広げていきたいと思っています。



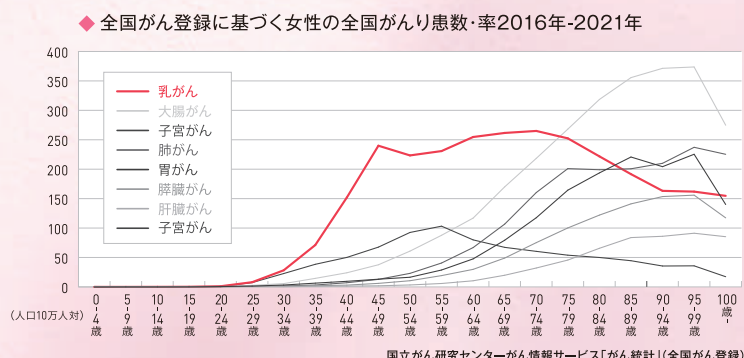
乳がんは生涯で9人に1人がり患し年々増加し続けていますが、早期発見すれば治療率が高いがんです。
是非、定期的な乳がん検診そして、「ブレスト・アウェアネス」の習慣を！

シャルレから
皆さまへ

受けてください！乳がん検診

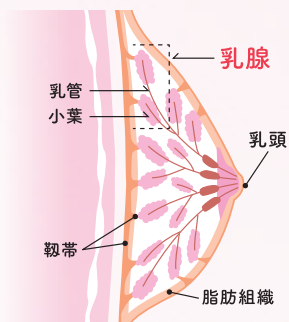
生涯で9人に1人がり患して、年々増加

乳がんのり患データを見てみると、働き盛りや子育て
などに忙しい40代後半が発症のピークで、最もハイリ
スクなのは、閉経前後の50代といわれています。しかし、
乳がんは早期発見・適切な治療で9割以上が治ると
期待されているので、定期的な検診やブレスト・アウェ
アネスを行うなど、関心を持つことが大切です。



乳がんはどんな病気？

乳がんは乳房にできる悪性腫瘍です。乳腺は乳頭から木の枝のように放射状に広がり、その先に小葉と呼ばれる母乳を作るところがあります。母乳を乳頭まで運ぶのが乳管です。乳がんの多くはこの乳管から発生します。1個のがん細胞が1cmのしこりになるまで数年から10年かかるといわれています。



「ブレスト・アウェアネス」を習慣づけよう！

Breast = 乳房 **Awareness** = 意識すること

ブレスト・アウェアネスは、『乳房を意識する生活習慣』です。

女性が乳房の状態に日頃から関心をもつことにより、

乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談するという正しい受診行動を身につけましょう。



① 自分の乳房の状態を知る

日頃から「自分の乳房の状態を知る」ことがまずブレスト・アウェアネスの第一歩です。入浴やシャワーの時、着替えの時、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。入浴の際に、石鹸を付けて撫で洗いのもいいでしょう。

② 乳房の変化に気をつける

普段の自分の乳房の状態を知ること、初めて、変化に気が付くことができます。しこりを探す(自己触診)という行為や意識は必要ありません。「いつもと変わりがなかな」という気持ちで取り組みましょう。

変化として
注意するポイント

- ☒ 乳房のしこり
- ☒ 乳房の皮膚のくぼみや
- ☒ 乳頭からの分泌物
- ☒ 乳頭や乳輪のびらん

③ 変化に気が付いたら すぐ医師に相談する

しこりや引きつれなどの変化に気付いたら、次の検診を待つことなく病院やクリニックなどの医療機関を受診しましょう。大丈夫だろうと安易に自己判断することなく専門医の診察を受けましょう。

④ 40歳になったら、2年に1回 乳がん検診を受ける

乳がん検診の目的は、乳がんで亡くなる女性を減らすことです。現在厚生労働省が推奨している乳がん検診(マンモグラフィ)は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。40歳以上の女性は、2年に1回、定期的に検診を受けましょう。また、「異常あり」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしましょう。

参考:乳がん検診の適切な情報提供に関する研究「ブレスト・アウェアネスのすすめ」

公益財団法人 日本対がん協会とは

1958年にがんの早期発見や適切な治療、生活習慣の改善によって、「がん撲滅」を目指そうという趣旨で設立され、累計で延べ4億人以上の方に検診を実施し、がんを見つけるなどがん征圧に貢献されている団体です。主な活動としては、がん予防・検診の推進、がん患者・家族の支援、正しい知識の普及啓発、医師、看護師、保健師、診療放射線技師など専門育成などと同時に、教育現場と協力して子供たちへのがん教育にも力を入れ、活動をしています。また、電話によるがん無料相談を実施されています。

がん相談ホットライン ☎ 03-3541-7830

相談日時: 毎日(年末年始を除く)午前10時～午後1時、午後3時～6時

乳がんをなくす 「ほほえみ基金」とは

乳がん検診受診による早期発見と適切な治療の推進、がん患者・家族の支援、正しい知識の普及啓発そして医療従事者の技術研修会の実施などに活用しています。